

東京圖書院發行)〔肥後〕

●加賀藩史料 第二編

侯爵 前田家編輯部編

第一編について慶長十一年より寛永十七年に至る大阪陣を轉機として幕府の諸施設の實施さるゝに伴ひ整備された藩政の諸事項、經濟、風俗等の諸事象が細大網羅されてゐる。統一的な幕府治下に於いて尙各自特殊の歴史を經過した各藩個々の研究が要望せられる時一般には容易に觸れ得ない藩の記録に基いて根本的な整理が行はれる事は大に望ましい事である。たゞ一言希望する所は頭註が單に考異注釋を加へらるるのを其等は行間に挿入し代りに重要事項を記さるれば利用價值の更に大なるものがあると思はれる。(菊版一〇一二頁、非賣品)〔藤〕

●大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告

第一輯

大阪府はさきに府下の史蹟名勝天然記念物に關する概

括的調査報告書を出すこゝ五冊に及んだが今や更にその精査報告書を稱すべきものゝ第一輯を出されるに至つた事は慶賀に堪へない。收むるこゝろ九項、就中通法寺址、狭山池、菅生神社、今城塚四天王寺出土瓦等を主なるものとする。(四六倍判、本文一五一頁、圖版三十八葉、非賣品、大阪府發行)〔肥後〕

●大阪府官幣社現行特殊慣行神事

大阪府編

大阪府下の官幣社住吉、大鳥、生國魂、板岡、水無瀬、四條畷諸社の現行特殊神事を起源並沿革、神事執行の模様の二項に分ち、多數の寫眞を加へて興味ある解説を施したものである。其中住吉神社の十種神事が全頁の三分の二を占めて解説されてゐる。尙其際名所圖會類に見えた舊儀を多數收めて現行のものとの比較を試み興味を添へてゐる用意ある編纂を多くしたい。本書は興味を交へた通俗的な小冊子ではある。然し近時急激に成長した民族學の對象として神社、特に神事が古代思想生活の殘存